

平成24年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月8日

上場取引所 大

上場会社名 ナトコ株式会社

コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 山本豊

TEL 0561-32-2285

四半期報告書提出予定日 平成24年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第1四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第1四半期	3,173	3.8	183	△35.8	192	△38.6	80	△35.1
23年10月期第1四半期	3,058	8.8	286	△0.5	313	7.9	124	△9.7

(注)包括利益 24年10月期第1四半期 142百万円 (△19.6%) 23年10月期第1四半期 177百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第1四半期	11.02	—
23年10月期第1四半期	16.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第1四半期	16,760		12,746			71.5
23年10月期	16,965		12,662			70.3

(参考)自己資本 24年10月期第1四半期 11,976百万円 23年10月期 11,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年10月期	—	—	—	—	—
24年10月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,750	6.8	485	△15.4	500	△17.3	240	△6.3	32.77
通期	14,000	7.3	1,150	3.5	1,180	1.7	570	9.9	77.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期1Q	7,324,800 株	23年10月期	7,324,800 株
② 期末自己株式数	24年10月期1Q	782 株	23年10月期	782 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期1Q	7,324,018 株	23年10月期1Q	7,324,018 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進むにつれ緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務危機や歴史的な円高が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは顧客ニーズに即した環境対応型製品や高機能性樹脂製品の開発に注力し、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,173百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

一方、利益面におきましては、経費削減に努めたものの、原材料価格が高値水準で推移した影響を受け、営業利益183百万円（前年同期比35.8%減）、経常利益192百万円（前年同期比38.6%減）、四半期純利益80百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①塗料事業

金属用塗料分野では、環境対応型塗料の拡販や外需を中心とした一部の産業機械関連の需要拡大が寄与し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。木工建材用塗料分野では、塗装レス製品の需要が増加した影響を受けたものの、新規ユーザーの獲得により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。無機建材用塗料分野では、大手ユーザーの需要が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、樹脂素材分野においては、既存メーカーへの需要は低調であったものの、新規ユーザーの獲得により出荷量が増加し、また、シンナーにおいては、前連結会計年度より見直した販売体制の下、積極的な営業活動を展開したことにより、新規ユーザーの取引が増加し、売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,791百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は269百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

②ファインケミカル事業

LCD用微粒子及び化成品における光学材料向けコーティング材やシリコン系表面機能材料は、海外メーカーの在庫調整の影響を受け、需要は低調であったため、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は327百万円（前年同期比27.1%減）、セグメント利益は41百万円（前年同期比52.4%減）となりました。

③産業廃棄物収集運搬・処分事業

産業廃棄物収集運搬・処分におきましては、積極的な営業活動による新規ユーザーの獲得で、廃棄物の取扱量が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、産業廃棄物収集運搬・処分事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は54百万円（前年同期比35.1%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は11,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が138百万円、原材料及び貯蔵品が49百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が308百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が42百万円増加したものの、有形固定資産が96百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は16,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ295百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が176百万円、賞与引当金が111百万円減少したことによるものであります。固定負債は473百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が6百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は12,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が21百万円、その他有価証券評価差額金が32百万円、少数株主持分が32百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.5%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年12月12日に公表いたしました「平成23年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,344,065	5,230,241
受取手形及び売掛金	4,356,549	4,048,251
有価証券	199,800	199,910
商品及び製品	744,554	883,018
仕掛品	39,225	41,448
原材料及び貯蔵品	328,324	377,847
繰延税金資産	120,450	65,913
その他	551,950	699,796
貸倒引当金	△4,296	△3,969
流動資産合計	11,680,622	11,542,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,114,108	2,072,756
機械装置及び運搬具（純額）	759,667	734,844
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	130,736	100,472
有形固定資産合計	4,717,982	4,621,543
無形固定資産	134,797	124,711
投資その他の資産		
投資有価証券	271,118	313,880
繰延税金資産	9,896	8,155
その他	231,670	223,672
貸倒引当金	△80,213	△73,877
投資その他の資産合計	432,471	471,830
固定資産合計	5,285,250	5,218,086
資産合計	16,965,873	16,760,544
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,737,549	2,750,442
未払法人税等	206,589	30,200
賞与引当金	212,339	100,951
役員賞与引当金	29,950	8,099
その他	650,096	651,680
流動負債合計	3,836,524	3,541,375
固定負債		
繰延税金負債	32,087	38,649
退職給付引当金	79,424	73,565
役員退職慰労引当金	210,604	215,711
その他	144,283	145,188
固定負債合計	466,399	473,115
負債合計	4,302,923	4,014,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	8,007,621	8,029,143
自己株式	△2,537	△2,537
株主資本合計	11,920,184	11,941,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,537	30,957
為替換算調整勘定	6,646	3,429
その他の包括利益累計額合計	5,109	34,387
少数株主持分	737,655	769,960
純資産合計	12,662,949	12,746,054
負債純資産合計	16,965,873	16,760,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	3,058,448	3,173,190
売上原価	2,206,320	2,420,510
売上総利益	852,128	752,679
販売費及び一般管理費	565,929	569,059
営業利益	286,199	183,619
営業外収益		
受取利息	3,251	2,184
受取配当金	1,102	2,300
有価証券評価益	12,055	—
貸倒引当金戻入額	—	6,662
為替差益	3,219	—
その他	10,176	4,992
営業外収益合計	29,804	16,140
営業外費用		
支払利息	45	9
売上割引	2,674	2,461
為替差損	—	5,082
その他	0	0
営業外費用合計	2,720	7,554
経常利益	313,283	192,206
特別利益		
固定資産売却益	15	1,849
貸倒引当金戻入額	917	—
特別利益合計	932	1,849
特別損失		
固定資産処分損	846	579
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,617	—
特別損失合計	16,463	579
税金等調整前四半期純利益	297,752	193,476
法人税、住民税及び事業税	53,132	27,458
法人税等調整額	88,434	52,973
法人税等合計	141,566	80,432
少数株主損益調整前四半期純利益	156,185	113,044
少数株主利益	31,769	32,330
四半期純利益	124,415	80,713

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	156,185	113,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,281	32,469
為替換算調整勘定	4,603	△3,217
その他の包括利益合計	20,885	29,252
四半期包括利益	177,070	142,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,277	109,992
少数株主に係る四半期包括利益	31,793	32,304

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年11月1日 至平成23年1月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,568,738	449,602	40,108	3,058,448	—	3,058,448
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,568,738	449,602	40,108	3,058,448	(—)	3,058,448
セグメント利益	333,306	86,415	10,691	430,413	(144,214)	286,199

(注) 1. セグメント利益の調整額144,214千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年11月1日 至平成24年1月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,791,406	327,607	54,177	3,173,190	—	3,173,190
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,791,406	327,607	54,177	3,173,190	(—)	3,173,190
セグメント利益	269,279	41,093	8,704	319,076	(135,456)	183,619

(注) 1. セグメント利益の調整額135,456千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。